



立命館大学交響楽団

立響創立60周年記念公演

第114回定期演奏会

関西公演

11.28 (土)

開演 17:00 閉演 18:00

料 1000円 2500円 5000円 7500円 (全席指定)

全席自由 (一部指定)

関西立命館交響楽団 びわ湖ホール 大ホール

〒590-0292 京都府京都市南区西九条二丁目1番1号

東京公演

12.6 (日)

開演 13:00 閉演 14:30

料 2000円 3000円 5000円

料 1000円 (全席指定)

東京立命館交響楽団 大ホール

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

指揮
阪哲朗

チェロ

ヘーデンホルク・貞樹

1977年、ドイツ・ケルン出身

Program

ドヴォルザーク

Dvorak

チャイコフスキー

Tchaikovsky

チェロ協奏曲 ロ短調 作品104

Cello Concerto in B minor, Op. 104

交響曲第5番 ホ短調 作品64

The Symphony No. 5 in E minor, Op. 64

※演奏は、東京立命館交響楽団の演奏による。

関西立命館交響楽団

〒590-0292 京都府京都市南区西九条二丁目1番1号

〒590-0292 京都府京都市南区西九条二丁目1番1号

〒590-0292 京都府京都市南区西九条二丁目1番1号

東京立命館交響楽団

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

演出 立命館大学交響楽団

チケット販売 立命館交響楽団

<http://www.ritsuak.or.jp/>



ヘーデンボルク・直樹

(Bernhard Naoki Hedenborg, Cellist)

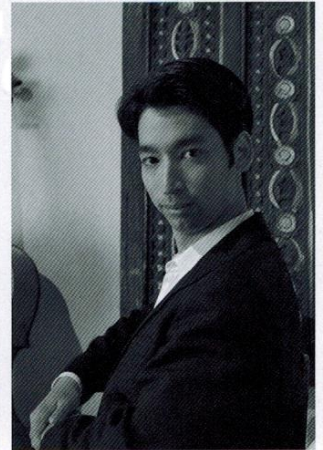
オーストリア・ザルツブルク出身。幼少よりその音楽性を認められ、12歳でザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団とソリストデビュー。13歳でモーツァルテウム音楽大学のハイน์リッヒ・シフの門下生となり、以後8年間彼の下でチェロのみならず音楽家としての在り方を学ぶ。18歳でシフと共にウィーン国立音楽大学に移り、1993年若い音楽家のための国際チェロコンクール第1位(ゴリツィア(伊))、1995年第2回国際コンクールチェロ部門銀メダル(仙台)、1998年国際コンクール「若きヨーロッパの音楽家」第1位(オスロ)等、数々の国際コンクールで入賞。

2003年にバイエルン放送室内管弦楽団とのハイドンのチェロ協奏曲でウィーン楽友協会大ホールにてデビューし、その後ドヴォルザーク・ホール(プラハ)、モーツァルテウム大ホール(ザルツブルク)、ラインガウ音楽祭(独)等で、ケルン放送管弦楽団、ウィーン・室内フィルハーモニー、モーツァルテウム管弦楽団等と共演。2007年にはアイゼナハ歌劇場(独)のソリスト・イン・レジデンスを務め、音楽総監督の阪哲朗氏と共演した。日本では

プラハ交響楽団、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団などと共演するほか、市民主催のコンサートや地方での子供向けコンサート等、幅広い聴衆と音楽を共有する演奏活動を大切にしている。

また室内楽演奏の活動も熱心に行っており、これまでにハーゲン弦楽四重奏団、クルターク、シェボック、ラドシュ等に師事。2004年よりピアノ四重奏団アンサンブル・ラロのメンバーとして活躍し、ブラームスやヴァスキスのピアノ四重奏曲、ドヴォルザーク、ドホナーニとスークのピアノ室内楽曲のCDをリリースしている。

ウィーン・トーンキュンスラー管弦楽団首席チェロ奏者を経て、2011年にウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団。2014年よりウィーン・フィルのメンバーとなる。現在はウィーンを拠点に置き、世界各地で演奏活動をするほか、2006年より神戸国際芸術祭の音楽顧問も務めている。オフィシャル・ウェブサイト <http://bn.hedenborg.com>



阪 哲朗 (Tetsurou Ban, Conductor)

阪哲朗は欧米での客演が数多く、これまで主にドイツ・オーストリア・スイス・フランス・イタリアなどでオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を取めている。日本ではNHK交響楽団をはじめ各地の主要オーケストラ、新国立劇場、二期会などのオペラ団体を指揮している。とりわけ2008/09年の年末年始に、ウィーン・フォルクス・オーパーで、同歌劇場の年間のハイライトとも言うべき公演である「こうもり」を指揮し、大変な話題となった。

これまでに、ウィーン・フォルクスオーパーをはじめ、シュトゥットガルト歌劇場スイス・バーゼル歌劇場、新国立劇場などで多くの作品を指揮。ドイツ国内はもとよりヨーロッパ各地でのコンサート及びオペラで活躍の場がさらに広がっている。京都市出身。京都市立芸術大学作曲専修にて廣瀬量平氏らに師事。

卒業後ウィーン国立音楽大学指揮科にてK・エステルライヒャー、L・ハーガー、湯浅勇治の各氏に師事。

これまでに、ビール市立歌劇場(スイス・ベルン州)専属指揮者、ブランデンブルグ歌劇場専属第一指揮者、ベルリン・コーミッシェ・オーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場(ドイツ・チューリンゲン州)音楽総監督、山形交響楽団首席客演指揮者を歴任。現在レーゲンスブルク歌劇場(ドイツ・バイエルン州)の音楽総監督(GMD)を務める。

1995年「第44回ブザンソン国際指揮者コンクール」優勝。1996年京都府文化賞奨励賞、1997年度ABC国際音楽賞、2000年京都市芸術新人賞、2000年第2回ホテルオーケラ音楽賞、2004年度第12回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年度第26回藤堂顕一郎音楽賞受賞。



立命館大学交響楽団 (Ritsumeikan University Symphony Orchestra)

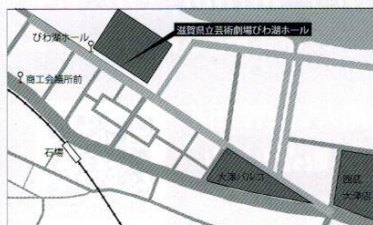
立命館大学交響楽団は、1955年に創団された。当時、当団名誉会長の故伊吹新一氏をはじめとするわずか数名の有志によって結成されたオーケストラであったが、現在は約120名の団員を擁するまでに発展した。

「地域に根差した学生オーケストラ」として、主に衣笠キャンパスのある京都、BKCのある滋賀での定期演奏会を行っている。また2015年に新規開設される大阪いばらきキャンパスのある大阪での演奏会定例化も予定している。

近年では、2004年に楽団創立50周年を迎え、その年の第91回定期演奏会にてヴァイオリニストの千住真理子氏とチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲で共演した。続く第92回定期演奏会ではドイツを拠点として活躍中の阪哲朗氏を招聘し、氏はベートーヴェンの第九交響曲の圧倒的な大成功へ当団を導いた。翌年、長期視点での楽団の育成・強化の取り組みを開始し、技術・運営両面でのさらなる活動水準の向上を目指すために、阪哲朗氏をオーケストラアドバイザーとして招聘した。2007年には高知県で喜歌劇「こうもり」の演奏

も行い、オケピットも経験している。2008年に第100回記念定期演奏会にて、ストラヴィンスキー「春の祭典」、当団オーケストラトレーナーを務め且つ著名なピアニストでもある中橋健太郎左衛門氏により、モーツァルトのピアノ協奏曲第20番二短調などを阪哲朗氏の指揮のもとに行った。また2009年には金聖響氏を通年で招聘、2013年の2月には大分県へ自主的な演奏旅行を阪哲朗氏の指揮のもとに行っている。2014年には、学生オケでは演奏することが稀であるオペラ「カルメン」に挑戦し成功をおさめた。

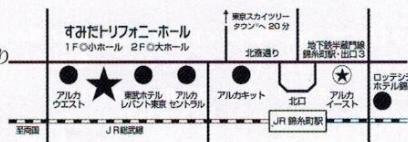
創団60周年を迎える本年は東京への演奏旅行も企画されており、「地域に根差した学生オーケストラ」から「国内最高水準の学生オーケストラ」へと発展するために日々の活動を精力的に行っている。将来的には海外演奏旅行を実施することを目標に掲げ、世界へと飛翔することが期待されている。



【会場へのアクセス】

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

- JR琵琶湖線(東海道線)「大津」駅より徒歩20分「膳所」駅より徒歩約15分
- 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分
(JR膳所駅乗り換え・石山駅乗り換え)



【東京公演】

すみだトリフォニーホール

- JR総武線「錦糸町」駅北口より徒歩5分
- 東京メトロ半蔵門線「錦糸町」駅3番出口より徒歩5分
- 都営バス「錦糸町駅」下車 徒歩5分